

日本体育・スポーツ哲学会第46回大会のご案内(第三報)

時下ますますご清祥のことと存じます。

日本体育・スポーツ哲学会第46回大会につきまして、下記の通り、ご案内申し上げます。
ご参加のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

- ・ 日程：2024年8月24日（土）、25（日）2日間
- ・ スケジュール：一般発表のタイムスケジュールが確定いたしました。
詳細については別添の紙面をご確認ください。

24日（土）

- 11:00～12:00 理事会
- 12:00～ 学会大会受付
- 12:50～13:00 開会式
- 13:00～13:50 会長講演
講演者：関根 正美（日本体育大学）
- 14:05～16:05 一般発表（2会場）演題番号 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
- 16:25～18:10 シンポジウム
「競技者が“一瞬にける美的体験”の追究」
コーディネーター：佐藤 洋（明星大学）・松宮 智生（清和大学）
- 19:00～21:00 研究交流会【会場：リーセントカルチャーホテル】

25日（日）

- 9:00～11:00 一般発表（2会場）演題番号 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16
- 11:15～12:15 台湾招聘講演
「The value basis of competitive sports: A zero-sum theory perspective」
講演者：Tien Mei Hu (National Taipei University of Education)
- 12:15～13:15 お昼休み
- 13:15～14:45 一般発表（2会場）演題番号 17, 18, 19, 20, 21, 22
- 15:00～16:00 一般発表（2会場）演題番号 23, 24, 25, 26
- 16:10～17:10 総会
- 17:10～17:20 閉会式

- ・ 会場：岡山大学 津島キャンパス 24 日：共育共創コモンズ（OUX：オークス）・教育学部本館 4 階
25 日：教育学部講義棟 2 階

〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学教育学部

アクセス ①JR 岡山駅西口広場 2 階タクシー乗り場からタクシーで約 7 分

（「岡山大学津島キャンパス東門」もしくは「岡山大学教育学部」と伝えれば会場至近まで乗車できます。タクシーは大学構内へ乗り入れ可能です。）

②JR 岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大西門」（約 7 分）で下車、バス停から徒歩約 5 分

③JR 津山線 法界院駅 下車 徒歩約 10 分（津山線は本数が少ないのでご注意ください）

アクセスマップ https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

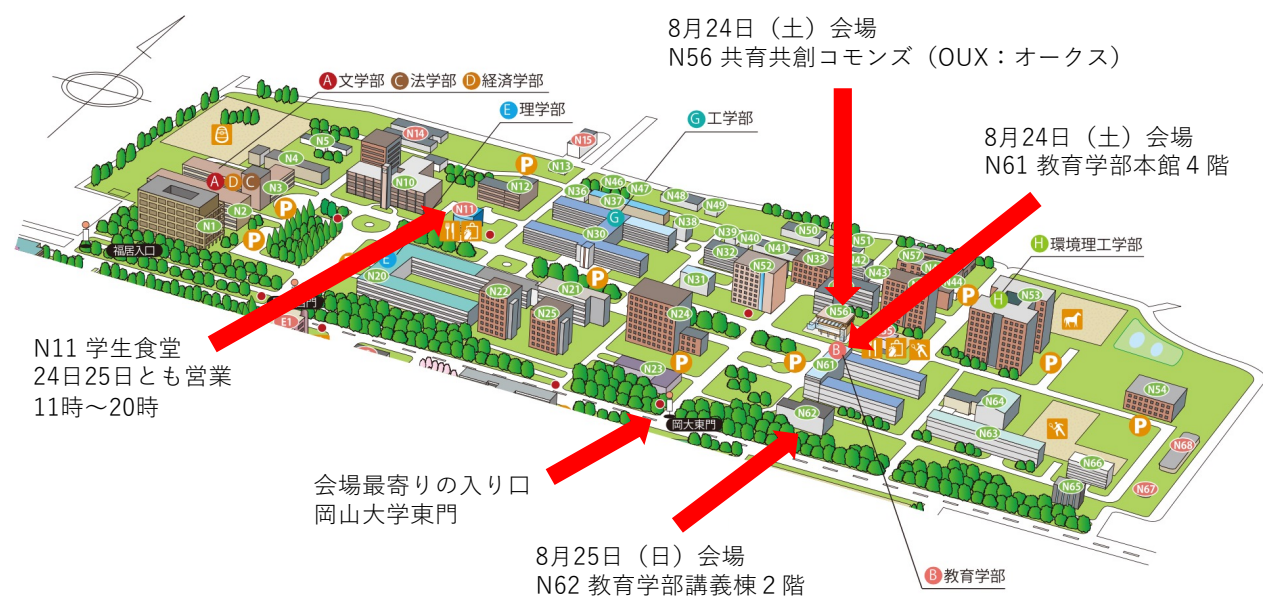


キャンパスマップ

（津島地区全体）https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_all.html

（津島地区北のみ）https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/soumu-access_tsushima_n.html

キャンパスマップ（津島地区北）詳細：会場の位置



津島地区北キャンパス

N1	文化科学系総合研究棟 社会文化科学研究科 法務研究科 弁護士研修センター	N20	理学部本館 理学部 自然科学研究科 環境生命自然科学研究科 異分野基礎科学研究所	N50	旧工学部21号館 自然生命科学研究支援センター 動物資源部門津島北施設
N2	文法経2号館 法学部 経済学部 社会文化科学研究科 ヘルスシステム統合科学研究科	N21	理学部2号館 界面科学研究施設	N51	環境管理センター 自然科学系総合研究棟
N3	文法経1号館 文学部 社会文化科学研究科 国際連携推進センター ヘルスシステム統合科学研究科 文明動態学研究所	N22	コラボレーション・センター 自然生命科学研究支援センター 分析計測・極低温部門	N52	低炭素・廃棄物循環研究センター グリーンイノベーションセンター
N4	文法経講義棟	N23	自然生命科学研究支援センター 光・放射線情報解析部門津島施設	N53	環境理工棟 工学部・環境理工学部 環境生命科学研究科 環境生命自然科学研究科
N5	文学部考古学資料室	N24	自然科学研究科 環境生命自然科学研究科 ヘルスシステム統合科学研究科	N54	新技術研究センター
N10	中央図書館	N25	異分野基礎科学研究所棟 工学部1号館～14号館・16号館～20号館	N55	東福利施設（ビオーネユニオン）
N11	北福利施設（マスカットユニオン）	N30～N43 N45～N49	工学部 自然科学研究科 環境生命自然科学研究科 ヘルスシステム統合科学研究科	N56	共有共創 commons（OUX：オックス）
N12	情報統括センター	N44	旧工学部15号館	N57	工学部実験研究棟
N13	文明動態学研究所			N61	教育学部本館 教育学部 教育学研究科 教師教育開発センター
N14	国際交流会館			N62	教育学部講義棟
N15	福居留学生宿舎			N63	教育学部東棟
				N64	教育学部体育棟
				N65・N66	教育学部音楽棟
				N67	弓道場
				N68	馬房

- ・大会参加費 3,000 円（大学院生は 2,000 円）

研究交流会費 6,000 円

当日、受付にて納めて下さい。その際、お釣りが出ないよう金額をご準備下さい。

大会参加費に大学院生の金額（2,000 円）を設定しました。

研究交流会費の金額が【第二報】でお知らせした金額より 1,000 円増額しております。

・参加申込期日 7月19日（金）

~~期日を延長しました。準備の関係上、参加のみを予定している方も事前の申込にご協力ください。~~

~~必要事項を下記フォームに入力／またはメールアドレス（jspspe46@gmail.com）に必要事項を記載のうえ送信ください。~~

~~なお、発表申込はすでに締め切っております。~~

~~https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeca4Jje7qT9WqYxw7KpnOUuzPepR74WA9pAfwu5SeMri0tZw/viewform?usp=sf_link~~

—○参加申込時確認事項

- ~~1) 氏名 2) 所属 3) メールアドレス 4) 大会参加の有無 5) 研究発表の有無~~
- ~~6) 発表演題名／発表がある場合 7) 共同研究者（所属）の有無~~
- ~~8) 発表の方法（パワーポイント・動画の有無等） 9) 研究交流会参加の有無~~

・予稿（発表抄録）の提出期日 7月31日（水）

発表申込を行った方は以下の執筆要項を厳守のうえ作成し、Word データと PDF データを第 46 回大会実行委員会宛て、電子メール（jspspe46@gmail.com）にて送付ください。

1) 用紙：A4 判用紙，横書き二段組み，上下左右に 25mm ずつの余白を設けて作成してください。

2) 演題・氏名等：

- ①演題は上段の第 1 行目または第 2 行目を用います。副題がある場合は改行しダッシュ（-）で挟み記入します。
- ②演題は 12 ポイント文字を使用し，フォントは MS ゴシックで強調します。
- ③演者氏名と共同研究者氏名は第 4 行目に記入します。所属機関は氏名の後ろに括弧（ ）で囲み記入します。

3) キーワード：10 ポイント文字を使用し，第 6 行目に 2～5 語の範囲で記入ください。

4) 本文：

- ①10.5 ポイント文字で第 7 行目から記入します。フォントは MS 明朝を使用ください。
- ②文字数は概ね 24 字×44 行×2 段とします。
- ③図表や写真などを使用する場合は，必ず枠内に収めてください。

- ・発表時のパソコンについて：パワーポイント等を用いる場合には、各自のパソコンをご準備して下さい。
プロジェクターとの接続端子は VGA, HDMI になります。
- ・発表資料について：発表資料を用いる際には各自のご判断で印刷物をご準備下さい。事前に申込み頂いている参加者数は約 60 名です（7 月 25 日時点）。
- ・宿泊について：各自でご準備ください。岡山駅近辺には多数のホテルがありますが、予約が埋まる場合もありますのでお早めにご準備ください。
- ・昼食について：2 日間とも学食は営業の予定です。ただし、会場の建物から学食までは若干の距離があります（徒歩 5 分程度）。
1 日目の会場（共育共創コモンズ）は飲食厳禁ですのでご協力ください。お飲み物（水分補給）については飲んでいただいて構いません。
2 日目は会場内で食事を取って頂いても構いませんが、会場近くにコンビニエンスストアはございませんので、必要の際はあらかじめご準備されることをお勧めします。
- ・研究交流会について：
会費 6,000 円（学会受付時に納めてください）
会場【リーセントカルチャーホテル】 <https://www.recent-culturehotel.com>
アクセス 会場となるホテルは大学と JR 岡山駅の間際に立地しています。大学からは徒歩ですと 20 分程度掛かります。
バスで向かうか、酷暑の場合には数名で乗り合わせてタクシーで向かわれることをお勧めします。配車については学会当日に会場でご案内いたします。
交流会終了後は岡山駅行きの無料シャトルバスを運行いたします。
- ・注意事項：8 月 24 日（土）は岡山大学教育学部を会場に他の学会の開催も予定されております（日本グローバル教育学会全国研究大会）。また学部の集中講義期間にもなりますので、受付や会場等の場所を間違えないようご注意ください。
- ・問い合わせ先：
実行委員長：高橋 徹（岡山大学） jspspe46@gmail.com または t.takahashi@okayama-u.ac.jp

・シンポジウムの概要

シンポジウムテーマ：競技者が“一瞬にかける美的体験”の追究

コーディネーター：佐藤 洋（明星大学）、松宮 智生（清和大学）

趣旨：

アスリートが勝利や成功のために「その一瞬にかける」ということを考えていきたい。時には命（安全）さえも顧みず、意図的に競技の文脈に染まることもある。それは、アスリートの姿そのものであり、アスリートの実存としても捉えることができる。アスリートは競技の世界における特殊な経験を持っているのである。「今しかない」「ここに全てを賭ける」という瞬間は、人間にとっては一般的な衝動かもしれないが、タガが外れたような競技への取り組みは一種の特殊性を帯びているし、観衆も何かを感じている。古代コロッセオの残酷物語（剣闘士・奴隷対決、猛獣狩り等）で熱狂した人々はそうした特殊な瞬間に快を見出すのだろうし、現代の格闘技でもノックアウトに盛り上がる瞬間は格闘家の「一瞬に全てをかけた」闘いに観る側が特殊な瞬間を見出したからこそ熱狂するのである。それは審判が試合を止めるジャッジをしようとする刹那にも関係するだろう。格闘家が一瞬にかける瞬間、審判もそこに「何か」への同調があるようにも思われる。

さらに言えば、ロス五輪柔道代表の山下泰裕選手とモハメド・ラシュワン選手の闘いはフェアプレー精神を学ぶ教材になっているが、それも「一瞬に全てをかけた」ことを我々が見出せるからである。他にも、箱根駅伝でフラフラになりながら襷を繋ごうとする選手を観て、我々が感動するのはなぜか？ 時には後何秒で繰り上げスタートという状況で、幾分の時間を無視してでも襷を繋げさせようとする審判にある心情とは何か。

以上の背景から、本シンポジウムでは「競技者が“一瞬にかける美的体験”の追究」をテーマに設定した。

年次計画：（１年目）アスリートの【人間性・ふるまい】を浮き彫りにする

シンポジスト：阿部 悟郎（東海大学）、中野 大希（筑波大学大学院）、松宮 智生（清和大学）

講演のタイトル : The value basis of competitive sports: A zero-sum theory perspective

講演者 : Tien Mei Hu (National Taipei University of Education)

Abstract:

This study uses the zero-sum theory of competition in sports philosophy to explain that in the world of highly competitive sports, elite athletes face "zero-sum games" in which they either win or lose, that is, the all-or-nothing (zero logic) of high-competitive sports. Three conclusions were obtained. First of all, the perfectionist trait of elite athletes is not some social maladaptation. On the one hand, it originates from the fierce competition environment of high-level sports competitions. The meticulous execution of regular sports training reflects the excellence of sports. On the other hand, elite athletes pursue faster, higher, stronger – together day and night, constantly moving towards and breaking through the limits of their own sports performance, reflecting the efforts of limited human beings to strive for perfection, and at the same time, it also shows the human nature which is competing with the others. Secondly, elite athletes in the world of high-competition sports are like a phoenix rising from the ashes, or like the 300 Spartans, bravely heading towards "death." This world does not allow for just having the intention of working hard or just trying to win; the latter is not enough to become a qualified competitor because when elite athletes adopt a process-centered and compensatory view of competition, high-competition sports lose their unique redemptive power. Finally, the high-competitive sports that elite athletes participate in are not the same as war. In other words, the outcome of a high-competitive sports game is not the same as a life-and-death war. The elite athletes who lose in their sports game always possess the possibility of the following sports session; in other words, the following sports session provides the elite athlete with the possibility of exceeding the result of his or her previous sports session. Therefore, in the highly competitive sports world, elite athletes need to understand the zero-sum logic involved in winning and losing in high-competition sports, especially those who are at the end of their sports careers and have failed to realize the zero-sum game positively. For elite athletes who have qualified for important events, this study applies zero-sum theory, provides elite athletes with a zero-logical value basis for competitive sports, and helps elite athletes view winning and losing in competitive sports with a positive concept.

Keywords: elite athletes; perfection; competition

一般発表 タイムテーブル

日程	時間	イベント	会場		番号	発表者	所属
8月24日 (土)	11:00～12:00	理事会	教育学部本館 404教室				
	12:00～	受付	共育共創コモンズ エントランス				
	12:50～13:00	開会式	共育共創コモンズ 講義室				
	13:00～13:50	会長講演	共育共創コモンズ 講義室				
	14:05～16:05	一般発表	共育共創コモンズ 講義室	14:00～	1	佐良土 茂樹	日本体育大学
				14:30～	2	釜崎 太	明治大学
				15:00～	3	石坂 未遊	日本体育大学大学院
				15:30～	4	Lu, Chieh ju	Bachelor Program in Sport Industry and Culture (Sportx), National Chengchi University, Taiwan
		一般発表	教育学部本館 404教室	14:00～	5	高桑 啓樹	筑波大学大学院
				14:30～	6	白山 承郁	兵庫教育大学大学院
				15:00～	7	浅田 風太	東海大学大学院
				15:30～	8	日向 悠太	立教大学大学院
	16:25～18:10	シンポジウム	共育共創コモンズ 講義室				
	19:00～21:00	研究交流会	リーセント カルチャーホテル				

8月25日 (日)	9:00～11:00	一般発表	教育学部講義棟 5202教室	9:00～	9	中野 大希	筑波大学大学院
				9:30～	10	高橋 浩二	長崎大学
				10:00～	11	北村 博司	元香川県公立小学校教員
				10:30～	12	吉田 美和子	上智大学基盤教育センター身体知領域
			教育学部講義棟 5206教室	9:00～	13	井手上 新	日本体育大学大学院
				9:30～	14	佐藤 直央	日本体育大学大学院
				10:00～	15	森田 啓	大阪体育大学
				10:30～	16	森 康太朗	筑波大学大学院
	11:15～12:15	台湾招聘講演	教育学部講義棟 5202教室				
	12:15～13:15	お昼休み					
	13:15～14:45	一般発表	教育学部講義棟 5202教室	13:15～	17	Chang Jung Hsuan	National Taiwan Normal University
				13:45～	18	KE-WEN, WU (Niemenin)	Department of Physical Education and Sport Sciences, National Taiwan Normal University (Taiwan)
				14:15～	19	CHUNG-YI WU	National Taipei University of Education
			教育学部講義棟 5206教室	13:15～	20	清水 智道	日本体育大学大学院
				13:45～	21	佐藤 雄哉	国士舘大学
				14:15～	22	近藤 良享	つくばスポーツ倫理研究会 (RSET)
	15:00～16:00	一般発表	教育学部講義棟 5202教室	15:00～	23	Li-Hong(Leo) Hsu	National Taiwan University of Sport
				15:30～	24	唐澤 あゆみ	日本体育大学大学院
			教育学部講義棟 5206教室	15:00～	25	浦谷 郁子	中央大学
				15:30～	26	伊藤 鴻児	筑波大学大学院
	16:10～17:10	総会	教育学部講義棟 5202教室				
	17:10～17:20	閉会式	教育学部講義棟 5202教室				